

「バレエは人の心を動かす——  
それを今でも日々実感しています。  
だからこそ、心を伝える舞台を創りたい」

ただがむしゃらに技術を磨くのではなく、楽しみながら、心を表現力することの大切さを教えている「プチバレエスタジオ」の野瀬代表。バレエを通し、生きていることの素晴らしさ、そして命の尊さを知ってほしい——そんなメッセージを、代表は生徒たちに伝え続けている。

#### Corporate Data

登録教師  
英国 R.A.D (ロイヤル・アカデミー・オブダンス)  
P.B.S.  
**Petit Ballet Studio**

#### プチバレエスタジオ

岡山市福島3丁目3-2-1  
TEL 086-265-2902  
URL: <http://www.petitblt.com>



#### 代表 野瀬 裕子

6歳からバレエを始める。スイスのチューリッヒバレエアカデミーに短期留学し、バーメット・ハーター氏に師事。その後、中国の北京舞蹈学院、オーストラリアなどに留学して研鑽を重ね、「プチバレエスタジオ」を開いた。

小倉 こちらのスタジオをスタートされたから、どれくらいが経つのでしょうか。

野瀬 12年ほどになります。私自身は、6歳からバレエを始めました。バレエ漫画に憧れて、「私も踊りたい」と思った、そんな他愛ないことがきっかけでした。スイスのチューリッヒバレエアカデミーに短期留学するなどして、意欲的に勉強を重ねていきました。

小倉 海外では、大きな刺激を受けたで

しょう。

野瀬 はい。広い世界を目にして、それまで自分がいかに井の中の蛙だったかを痛感しました。日本では、踊りの世界というのはとても狭いものですから、それまであまり外に目が向いていなかったんです。良い先生にも出会え、自分を磨いた後に帰国、そして中国の北京舞蹈学院、さらにオーストラリアに赴いてデビー・ランデル女史に師事しました。オースト

リアで得た最も大きなものは、「楽しんで踊る」ということを知ったことです。それまでは真面目一本でひたすら真剣に学んでいた私にとって、皆がとても楽しそうに踊っているのを見た時は衝撃でした。でも、一緒にレッスンを受けているうちに、「自分が楽しんで踊ってこそお客様にも楽しさを伝えることができる」と分かってきました。本番だけの笑顔では、お客様に感動は伝わらないでしょうから。以前から、日本人はテクニックが高い割に感動を伝えられない人が多い、と思っていたのですが、その疑問に回答をもらった思いでした。

小倉 確かに表現力には、踊り手の気持ちの在り方が大きく影響しますからね。では、現在はそういった面を大切になさって教えておられるのでしょうか。

野瀬 はい。当スタジオでは、みなとても仲が良く、楽しみながら学んでいますよ。生徒達には、技術だけでなく、感受性を豊かにできる踊りを踊ってほしい。教える際にはもちろん厳しさも大切です



ゲスト 小倉 一郎

#### 「バレエとミュージカルの融合 私もぜひ拝見したかったです！」

「技術はもちろん大切ですが、何よりも“表現する心”を重んじてレッスンを行っておられる野瀬代表。2006年の10月には、第44回岡山市芸術祭で、『星の王子さま』を公演したそう。バレエとミュージカルが融合した全く新しい舞台——まさに表現する心こそが大切なのだと、生徒たちも学んだことでしょう」

# 心を表現し、心に響く踊りを—— 感受性を育むバレエスタジオ

が、踊りで最も大切なことは何かを、常に考えるようにしています。

小倉 なるほど。ところで今は、海外から先生を招いておられるとか。

野瀬 はい。レニングラード キーロフ劇場をはじめ、様々なバレエ団で客演として活躍されていたエヴァ・エフドキモヴァ先生をお呼びしています。また来週には香港から別の先生をお呼びしています。私自身が海外でたくさんの先生と出会い、たくさんのことを学んだ経験から、「生徒たちにも出会いを体験させてあげたい」と強く思うようになり、活動しているんですよ。

小倉 でも、著名な先生ですと、お呼びするのも大変でしょう。

野瀬 そうですね。エヴァ先生ほどの著名な方になりますと、先生の活動拠点であるニューヨークでも、教えるを請う機会はなかなか得られません。でも私は、一度先生が来日された際、その素晴らしさに感銘を受け、「なんとか生徒にも合わせてあげたい」と強く思うように。そうなるも矢も楯もたまたらず、ニューヨークを訪れ、「ぜひうちの教室に来てください」とお願いしたんです。

小倉 すごい熱意ですね！

野瀬 思いこんだら一直線、という感じ

## エヴァ エフドキモヴァ バレエセミナー



ヴァルナ国際コンクール金賞受賞後、かの有名なルドルフヌレエフのパートナーとして15年間にわたり、数々の伝説を残す。Prima Ballerina Assolutaの称号を持ち、世界中からオファーを受ける、もっとも多忙なバレエ指導者である。現地N.Y.でも、先生の直接レッスンを受けられる機会は、なかなかありません。このチャンスを生かし、ぜひレッスンを受けてください！

Prima Ballerina Assoluta…バレエ・オペラの世界で、プリマより高い地位を指す。ソロの中のソロのこと。

Prima Ballerina Assoluta *Eva Evdokimova*

で(笑)。以来、もう3年ほどにわたってレッスンを行ってくださっています。

小倉 代表の熱意が、生徒さんの新しい世界を開いたのでしょよね。では最後に、これからの夢をお聞かせください。

野瀬 バレエというのは、私にとって一つのツールなんです。生きていることの素晴らしさ、命の大切さ、そしてその命を精一杯生きることの大切さを、バレエを通じて生徒達に伝えたい。生徒一人ひとりが十分に命を輝かすことができれば、素晴らしい舞台ができあがると思います。そのことを胸に、これからも命そのものが輝くような作品を創っていきたいですね。

また現在当教室では、アウトリーチ活

動に力を入れています。アウトリーチとは、日頃芸術に触れる機会を持ってない方——つまり病院や施設に向向いて、その素晴らしさ、感動を伝えていく活動。色々な場所を訪れますが、患者様の中には私たちの舞台を見て涙を流してくださる方もたくさんいらっしゃるんです。慰問公演では、こちらが言うべき「頑張ってください」という言葉を、お客様からいただくことも…。そんな時は、胸がいっぱいになりますね。私自身、バレエがこれほどまでに人の心を動かすということを、日々再発見しています。これからも観ている人の心に触れる舞台を、生徒と一緒に創り上げていきたいですね。

(取材 / 2007年3月)

## 愛を感じ 受け止め 表現する

音楽、ダンス、能、現代アート、  
4つのコラボレーションが、新しい感動の扉を開く

### LOVE DO ART! 2007

「プティバレエスタジオ」は、2007年4月30日、「ルネスホール」にて「LOVE DO ART! 2007」に出演する。この舞台は、クラシック音楽、ダンス、能、そして現代アートという4つの異分野がコラボレートして、新しい感動を生み出す全く新しい舞台だ。理念は「愛を感じ 受け止め 表現する」。お互いに異分野であるからこそ、それぞれの魅力は一層高まり、また新しい魅力が生まれる。この舞台から、どんな扉が開かれるのか、楽しみだ。

